

生徒のみなさん、保護者のみなさんへ

いよいよ暑さも本番、夏がやってきましたね。これからの夏休み、いろいろな楽しみやイベントも多い季節ですが、少し時間ができたら、ミステリー小説など読んでみるのはいかがでしょうか。今回ご紹介するのは、演劇女子学校を舞台とした、一人の天才の死をめぐる物語です。マンガにもなっているようなので、知っている方も多いかもかもしれません。（この学校の図書室にも小説版があります）



「最も演技（だま）しているのは誰？」という出版社のコピーどおり、「舞台」に情熱を注ぐ演劇学校の女子高生たちの思惑、それぞれの背景事情が複雑に絡み合い、ミステリーとしても青春物語としても楽しめる、読み応えのある小説です。

突然、自分の手がける演劇の上演中に舞台から転落死した設楽了（したら・りょう）、その死の真相を探るために入学したと宣言する新入生、藤代貴水（ふじしろ・たかみ）の登場をきっかけに、女子高生たちの関係や日常はかき回され、皆の感情が大きく動き始めます。俳優の能力を引き出し、観客を魅了する舞台を作り上げる天才だった了、了と同じく劇作家を目指しているが、常に二番手に甘んじるしかなかった主人公結城さやか、了の手がける舞台に上がりたい、了に認められたいと切望していた俳優志望の生徒達。

了の死はやはり不幸な事故なのか、そうではないのか…目くるめく展開を楽しんでくださいね。

この小説に描かれているのは、謎解きを軸にした、「演劇」という得体のしれない芸術に魅了され、そこに自分のすべてを賭けようとする少女たちの姿です。まさに魔女にそそのかされ、運命を変えてしまったマクベスのように、彼女たちも翻弄され、罠に落ちながらも、演劇に魂を捧げようとしま。自分を信じようとする力、絶え間ない努力、他者の才能に対する羨望、葛藤と、読んでいて自分の中にもあるさまざまな感情が照り返されてくる思いになります。この夏のおススメです！

相談室開室 毎週月曜日 9時30分～17時30分

相談の予約をしたい場合は、スクールカウンセラーか担任の先生などに希望時間を伝えてください。*昼休みや放課後は相談室を開放する予定です（予約優先）

♪気軽に声をかけてください

ちょっと話をしたい、相談したいなど、どんなことでも気軽に声をかけてください。静かな部屋でしばらく時間を過ごしたいというようなことでもかまいません。相談室には、将棋盤などのゲーム、絵具、紙粘土などもあるので、気分転換したい、なにかを創りたいときなどにもどうぞ。

